法政大学学術機関リポジトリ
HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-07-10

『会津藩家世実紀』能楽関係記事をめぐって

山中，玲子

(出版者 / Publisher)
法政大学能楽研究所 / The Nogami Memorial Noh Theatre Research Institute of Hosei University
(雑誌名 / Journal or Publication Title)
能楽研究 / 能楽研究
(巻 / Volume)
28
(開始ページ / Start Page)
37
(終了ページ / End Page)
67
(発行年 / Year)
2004-04-10
(URL)
https://doi.org/10.15002/00002858

Hosei University Repository

『会津藩家世実紀』能楽関係記事をめぐって

山中　玲子

会津藩の藩政資料『家世実紀』は、寛永八年(1631)から文化三年(1806)という長期にわたる記事を収めた全二七七巻の大部である。幸い家世実紀刊本編纂委員会による翻刻・編集の活字本『会津藩家世実紀』(十五冊)が吉川弘文館から発行されており、併せて人名作品(二冊)も刊行されている。人名索引には「観世」「金春」等の名もわずかながら挙がってはいるが、この厖大な資料の中に能楽関係の記事がどの程度含まれているのか、今までまとまった調査は行われてこなかったように見受けられる。今回、科学研究費を受けての「中世から近世・近代にいたる都市と能楽の関係についての総合的研究」の一つとして、『家世実紀』(活字本。以下『家世』と略称)から能楽関係の記事を網羅的に拾い出し、年表化した(後掲表A)。能楽の上演記事には具体的に曲名を記してある場合も多かったので、別に曲名索引も付した(同表B)。

「能楽関係記事」と一言でくくっているが、その内容はさまざまである。江戸の藩邸に老中等を招いて催した能の会や、会津の城での祝い事に演じられた能の記録など、他所でもよく見かける形の資料も多いが、勧進能をめぐるスキャンダルや能装束紛失事件の顛末、老中田沼意次へ能装束を贈った話、緊縮財政下に能役者を会津へ連れて下向し

Hosei University Repository

てはならぬという通達、果ては、江戸から下った能役者が謡の稽古をしているのを町のチンピラが囃し立ててけしからんというような話まで、実に多種多様な記事が集められていて興味深い。個々の記事に関しては、さらに多くの資料との照合による詳細な吟味が必要だろうが、今回は残念ながらそこまでは至らなかった。いくつか気づいた点を述べるに留め、とりあえず今後の作業の土台とするべく、拾い出した記事を紹介することを本稿の目的としたい。

【役者】

会津藩に幕末まで続いたお抱え役者がいたという明確な記録は見出せないが、少なくとも延宝から元禄頃には「日吉」姓の宝生流の役者を召し抱えていたようだ。大倉三忠氏蔵『四座先祖書』(能楽研究所の写真による)では「日吉権大夫」という人物に「保科筑前守殿大夫」「宝生将監弟子」との注記がある。表Aでも、数少ない能役者名の中に、日吉が二度登場する。延宝六年の謡初め(23。囃子と狂言)は藩主保科正経(筑前守)が会津在郷中の出来事だが、ここに登場する日吉権大夫は、前年七月の「江戸より能役者共罷下候…」(18)の時に会津に下り、三の丸に完成したばかりの能舞台で数多くの能を舞ったのだろう。この年の四月に再び江戸へ向かった藩主一行は、十一月には跡継ぎの重四郎(正容)お目見えの能を江戸で催しているが、この時には宝生将監・宝生九郎が出演している。この頃の会津藩は宝生流と縁が深かったようだ。だが、日吉とのつながりは、元禄六年の勧進能をめぐるスキャンダルで途絶えてしまったらしい。39の記事には、次のような部分がある。

…然処大石梅軒義猿楽日吉弥右衛門と申合勧進能致興行、其入用ニ他所より莫太之金子を借出、梅軒へ致加判候処、此義入御耳御首尾合不宜、弥右衛門ハ御暇被下候処、其借金之事ニ付、他所金主梅軒方江致催促彼是六ケ敷義有之、梅軒ハ御叱被仰出候上、梅軒義其金子之内自己致返済、或自分之借金ニ致替、又ハ御家中之者へ加判を頼彼是致し、漸借金之事しつまり候…、

Hosei University Repository

この事件に関わったため、小姓頭だった岡田又右衛門が処分されたという話が中心の記事だが、傍線部に明記されるように、莫大な借金をして勧進能を催した日吉弥右衛門は暇を出されており、以後、少なくとも『家世』の記事中には日吉の名も宝生の名も登場しない。そしてちょうど入れ替わりのように、表Aでは享保二十年に金春八左衛門の名が登場し(75)、その後も91・110・111に金春の名が見える。安永元年四月の記事(110)は、この年の三月にあった大火で江戸の上屋敷が焼失したための、緊縮財政の一環だが、「御内証御差支ニ付、新規之廉々被相止」という長文の記事の中に「御下向之節、御出入之町人、会津へ被差下候儀、能役者今春平五郎・岡田七右衛門、会津へ被差下候儀、江戸ヨリ他所職人会津へ被差下候儀、三ヶ条道中諸渡り方等不少御費ニ候間、費相止可然」とあり、逆にこれ以前は、江戸から会津への下向に際してこの二人(岡田七右衛門は鷺流の役者)を連れて行っていたことが判る。その後、この時の措置が旧に復したという記事は見あたらないが、会津藩と金春との関係は幕末まで続いていたようで、『忠恭様(第八代藩主容敬)御年譜』には次のような記事がある。

一　乱舞謡等ハ御幼年より被為好、大町通御住居ニ被為入候中ハ、御附ケ人之中ニ而、金春流相学候者へ御相手被仰付、江戸表へ御登城後、役者中村平蔵・金春孝次郎・中村平三郎抔、追々御相手ニ被成召、笹原源之助抔へも御尋有之、傍大小鼓等迄も被遊候。…(中略)…凡而技芸之御好ハ過れハ不宜ものと思召候哉、御好被遊候ても、程を御越し不被遊候。諸藩之中ニハ月能・月雛子等、御催被成候御方も有之哉ニ相聞候処、御終身御能仰付候儀ハ一度も無之候。

専門の能役者に舞わせるだけではなく、小姓など家中の者に芸を習わせて相手をさせていたようだ。但し、人別帳などに能役者と思われる人物が見あたらず、また番組類も資料として残っていないため、具体的にどんな人物が誰に習ってそうした役割を担っていたのか判らない。表Bからは、会津藩では狂言を愛好していたように見えるが、家臣

Hosei University Repository

たちが能の囃子と狂言を両方演じていたのか、それとも役割分担があったのか、その辺の事情もはっきりしない。

が、わずかながら判明したこともある。右の記事に出てくる笹原源之助は、代々そのような家だったのだろうか、天明の頃の先祖も、召し出されて能や囃子を演じていたようである。『諸士系譜』（会津市立図書館蔵）「笹原氏」の「二代　源之助忠順（明和八卯年五月五日誕生）」の項に、次のような記事がある。

天明四辰年　月不詳　貞昭様御相手被仰付候／右ニ付、時々反物并御目録等被下置、御相手被仰付る。以前より愚彰院様（正容の子、容章…引用者注）江茂度々被為召、御能・御囃子之毎度罷出、相勤候事

また、これほど確かな資料ではないが、随筆類の中にも家臣に能や謡の上手がいたことを示す逸話はいくつか見受けられる。たとえば『会津干城伝』（『続会津資料叢書』所収）の「木村弥平次」の項には、

戸枝作左衛門と云者、紙にて装束を拵ひ能を教へける、折節、道成寺の能をしければ、

紙子きて川へはいるか道成寺あすか河原の四十八まひ

徳翁様御聴遊ばし、弥平治は狂歌ばかりでなく謡なども達しけり、道成寺の能に清姫が四十八の乱拍子と云ふ伝あり、道成寺の石垣階はし四十八階有りとなん、是にも叶へりと御感ありき。

というエピソードが載っている。戸枝作左衛門は、『諸士系譜』に「初作十郎。又弥大夫、隠居後市作、寛文四辰年四月誕生」とある「作左衛門為季」が、徳翁（＝正容）と時代的に合うようだ。能を他人に教えられるくらいの人物で、しかも（道成寺）を舞えるレベルである。またそれを見て狂歌を詠んだ木村弥平次も、正容が感嘆したように、能の習いに精通していたようだ。こうした記事をどこまで信用するかは問題のあるところだが、少し時代を遡る寛文九年の「家督祝儀老中招請囃子」（7）の際、

御酒二篇返り、御囃子、高砂・芭蕉・祝言猩々被仰付、雅楽頭様御杯、殿様へ被進、殿様より残御老中様・若御

Hosei University Repository

老中様方并御相伴衆与御杯事被成、雅楽頭様御杯三郎兵衛・主計・茂右衛門・三左衛門・勘十郎・平左衛門・五郎兵衛・左近・西郷頼母・小原五郎右衛門・日向三郎右衛門・戸枝彦五郎・大原左近右衛門・円城寺彦九郎・一瀬伝兵衛・坂部金大夫・田中加兵衛・川手郷左衛門・山崎左助・奥平縫殿助・永田藤兵衛・小森八郎兵衛・木村弥平治・刈部権左衛門・白井六左衛門・成田源兵衛・小野田助之進已上二十七人へ被下…、

と、囃子の直後に雅楽頭から盃を頂戴したの中には、木村弥平次、戸枝彦五郎といった名が見える。また、表Aを見ると、(井深)茂右衛門、(友松)勘十郎、西郷頼母、(柳瀬)三左衛門等の邸へ藩主が出向き、そこで能の会を催している記事も多い。ここに名の挙がっている近臣たちが、様々な機会に謡や舞を演じていた可能性は高いだろう。

【装束】

会津藩の場合、他の大名家のように所蔵の面装束が記録され残っていないようなので、『家世』の記事からごくわずかながら分かることを記しておく。

一つ目は、元文四年の記事(85)である。常詰御次番の佐治十兵衛という男が「御預ケ之書物并御能装束紛矢」という事件を起こしたようで、

六月末虫干之節、芝御蔵ニ有合候御能装束相改候得者、過平上御屋敷ニ有之由ニ而御帳面引合不相済、度々及対談候得共、昼夜不得隙相勤候間及延引候由ニ而、漸八月廿九日九月八日両度へ、上御屋敷ニ有之分於上御屋敷相改候由…

とあった後、上屋敷で確認がとれた能装束が列記されている。活字本の句読点の打ち方では意味が通らない部分があるので、句読点は改めて打ち直して左に掲げる。なお、当該部分は会津市立図書館蔵の底本も確かめたが「黒うとん」の部分など、文字遣い等に関して誤植はなく、底本通りである。

Hosei University Repository

厚板唐織二つ、黒うとん鶴菱の紋から・白地亀甲松竹鶴織紋。
繻珍振袖一つ。
斐斗目袷、紺色一つ。
縫箔二つ、萌黄地貝尽し・ぬひはく浅黄青海波。
唐織袷三つ、赤地桔梗荻蝶・萌黄白段々替檜垣夕顔・紅白段々替檜垣藤。
半切一、天地金入杜丹折技。
花帽子一。　白袷二つ、有之。

もう一つは天明元年十月九日の記事で、老中の松平輝高(石京大夫様)と田沼意次(主殿頭様)へ三百両贈るべきところ、財政逼迫の折から適わぬので、二百両と、不足分は何か贈り物をしようと吟味する中に

…且主殿頭様へも御模様次第被遣方無之候而ハ相成間敷処、能を至而御好之由ニ候間、能装束之類、又ハ御有合之内面抔可宜由、(略)是迄彼是ニ頼之御礼ニ、石京大夫様へハ鉢植松へ茶宇縞十巻、主殿頭様へハ御能御装束長絹地緋之大口被遣

という箇所がある。最終的には「長絹(用の布地か)と緋大口」を贈ったようだが、手持ちの能面を贈ることも考慮していたらしく、金百両の代わりに老中に贈呈できるレベルの能装束や能面があったということだろう。

【三の丸舞台披の能興行】

先にも触れたが、延宝五年八月には会津若松城三の丸に能舞台が完成し、舞台披の能が催された。同月六日の記事(19)には、どのような人々が許されどの場所から能を「拝見」し、警護はどのように行われたか等、詳しい内容が記されているので、適宜まとめて左に掲げる(警備の記事をまとめたので実際の記事の順と多少入れ替わっている)。

Hosei University Repository

●能を観る場所

＊加判之者共始、北原円敬・北原采女、御側、其外御近習独礼之父子、組頭并無役田中加兵衛、猪苗代御城代日向半之丞、物頭寄合組無役渡部久右衛門、福王寺八弥父子、遠山道幽・黒河内意哲・川手郷左衛門、大書院へ罷出。

＊町医師・検断・名主・諸職人、以前ニ御目見不罷出分、父子共ニ於白砂拝見被仰付、依而小書院西北之角縁之上ニ、うすへりを敷。

＊御小性組壱人つゝ交ル〳〵相詰、正面白砂之左右ニ。

＊御歩行弐人つゝ上下着用、板敷之上薄縁を敷相詰。

●警備

＊町人共居候、前虎落之内ニ夜廻同心弐人・町同心小頭弐人。何れも上下着。

＊後正面桜之下ニ夜廻同心弐人上下着用交々罷出。

＊舞台之後より御茶屋迄之間ニ、夜廻同心弐人、足軽小頭共二十五人。

＊裏御門前へ足軽小頭共二十一人、夜廻同心弐人。

＊裏御門内外中ノ口前へ足軽小頭共十六人。

＊路次門之外ニ夜廻同心弐人・足軽小頭共六人為立番罷出、町人共此口を為致出入。

＊草履取者御門外ニ差置、表御門裏御門共増番申付。

＊御玄関前之規式、…侍衆刀持計内腰懸ケニ残置、其外又者之分不残大腰懸へ遣。

＊裏御門前ニ夜廻同心壱人。

Hosei University Repository

＊中ノ口前ニ夜廻壱人、大腰懸之前ニ足軽小頭共二十壱人為立番罷出。
＊小頭者不残上下着用罷出、御寝間之後ニ増番申付。
＊御歩行目付壱人、御玄関前・楽屋之後ニ、御茶部屋之辺并楽屋之内・御寝間之後、折々為見廻。
＊御台所火之元、是又御歩行目付見廻、尤御台所頭小川七郎左衛門、御台所目付林郷右衛門別而入念候様申付、御台子所へ御茶番坊主壱人附置
＊上之長囲炉裏ニ御歩行目付一人。
＊甲賀之者番所ニ増人差置、同所より御台所移り之廊下ニ、甲賀之者弐人差置。
＊書簡部屋・御祐筆部屋其外猥ニ無用之者奥へ通間敷旨申付、当番之御歩行衆弐人つゝ交々御用部屋ニ相詰。
＊中ノ口中間番所之上ニ中間頭壱人・杖突壱人相詰。
＊大書院南之縁通へ入間敷旨申付、御持筒弐人切戸之所ニ交々相詰。
＊御茶屋楽屋御台所不寝番申付。
＊前々小番衆致番候御廊下ニ、御歩行目付壱人差添、為拝見罷出候者之外者入間敷旨申付

●役に付きながら能を観る

＊組付当番之面々御番所不明様ニ、交々御広間之上溜り座敷ニ而為致見物。
＊村越円斎・橋爪休悦御用部屋役人、大書院より小書院へ移候廊下ニ相詰詰合、御歩行衆坊主御台所人役所之御用不欠様ニ致見物。
＊御供番衆番所より為致見物。

●飲食

Hosei University Repository

＊拝見之侍衆へ饅頭・餅・赤飯取合、へきニ入、面々之前へ引之御酒被下之。

＊町医師・検断・名主・諸職人者、大腰懸ニ而赤飯被下之。

以上、非常に詳細に記録されているが、「此後度々御能拝見被仰付之」とあるそのいつかの折に、こうした警備の役の振りをして能を見物した輩がいたらしい。同条の末尾には、割り注の形で以下のような出来事が記されている。

此後御能之節、保科十郎右衛門家来六人上下着用、於御城御供番中へ加り致見物候故、其座為払。此儀、御腰物番柳瀬作之丞、十郎右衛門へ物語候得ハ、驚キ入、「兼而御能之節、同職家来とも不作法之旨承候ニ付、家来共ニ稠敷申付候処、無是非事ニ候、為御知満足」之旨致挨拶、家来共相糺候処、響を聞、其者共建福寺・善竜寺へ駆込候故、両寺より使僧を以侘致し、依而伊波七郎右衛門・内田治部右衛門両人相頼、「私家来共、御寺中へ走入候故、御留置御断、過分之至ニ候。然とも此者共儀、御能之節格を越たる罪、畢竟上之御法度ニ障り、非私之背憤計候、依而者御寺中速ニ追放可被下」旨申遣候得者、「吾家之仏法寺法ニ、寺入之者不被救候節者、寺を啓候。出家之掟ニ候間、猶明日直ニ参上、罪を被為救、前之通被召仕候様侘訴いたし、不相叶ハ、直ニ当寺啓発可仕」旨返答有之、此段茂右衛門・三左衛門聞伝、両寺を為啓候而者、世之取沙汰甚敷、御為却而不可然旨、十郎右衛門及異見候ニ付、無拠両寺之侘事を聞入無事ニ召仕候。

保科十郎右衛門の家来六人が城内での能にもぐり込み見物していたのを見つかり、処分がありそうだとの噂を聞いて寺に逃げ込んだ。十郎右衛門は私憤・私闘ではなくお上の法に触れる罪を犯した輩だからと寺から追放するように申し入れたが、寺の方では「寺中に逃げ込んだ者を助け得なければ、そのまま寺を捨てて去るのが大法」と、自然居士の科白を思わせるようなことを言って引かない。そのようなことになっては世間の取り沙汰も面倒なので、結局、六人を許すことになった、という話のようだ。先に引用した警備に関する記事でも、警備の合間に、警備が疎かにならー

Hosei University Repository

ないように気を付けて交代で能を見物せよとの命令があった。また、元文二年にも「御能有之時、面々其役を相守り、猥に不可致見物旨…」という通達が出ている。右の六人も、「稠敷申付」られていたにも関わらず上下着用という、一種の変装まで行って能を見物したということだろう。会津藩士たちにとっての能が、藩主の命令で嫌々見せられたり相手をさせられたりするものではなく、本当に楽しみなものだったことが伺われるエピソードである。

以上、『家世』の記事を表Aの形で一覧した結果、自動的に見えてくるようなことを、いくつか紹介した。が、初めにも述べたように、各記事の詳細な検討を通して判明することはさらに多いと思われる。他藩の資料とつきあわせることも必要だろう。とりあえずはそうした作業の材料として、以下の二種の表を提供することとしたい。

＜凡例的なこと＞

表A　1　当該記事の収録されている『会津藩家世実紀』の巻数と頁を―で繋いで示す。長文の記事の場合は冒頭の頁を掲げるのを原則としている。

2　年号・西暦・月日を順に数字で示す。数日間にわたる出来事をまとめて、ある一日の記録の中に書き込んでいる場合は、原則として、日付ごとに分けて別の項目にしてある。その場合は、頁も記事全体の冒頭ではなく、該当の日付に関わる記事の始まる頁を掲げてある。

3　話題の欄には、記事の大まかな内容がわかるような見出しを掲げた。原本の記事冒頭にある見出しをそのまま用いた場合も多い。

4　能や狂言等の催しで、演じられた曲目が記事中にある場合は「曲目」の欄に掲げた。江戸城での催しなど、他の資料により曲目がわかるものも多くあるが、加えていない。ここに掲げたのは、あくまでも『家世実

Hosei University Repository

紀』に記されている曲目である。

5 「備考」の欄には他の欄に記せなかった雑多な内容を掲げている。演者名が出ている場合はここに掲げた。通達などはここに記事本文の一部を引用した。紆余曲折のある出来事など、「話題」と「備考」の欄に分けて内容を示した場合もある。

表B

1 能・狂言・一調・囃子・仕舞等の上演形態別に、曲名を五十音順に並べてある。

2 上演年月日は年号・西暦・月日の順に数字で示す。閏九月の催しがあるが、月日の欄は通常の月と同じく9の数字を入れ、閏月であることは備考欄にことわってある。

3 催しの種類は最後に掲げたが、同日の催しの中でも場所を変えた場合や、特にある曲が所望によるものだった場合などは、備考欄にその旨を記した。演者名が記されている場合も備考欄に記した。

＊本稿は、平成一一～一四年度文部科学省科学研究費補助金(基盤研究B(1))による研究「中世から近世・近代にいたる都市と能楽の関係についての総合的研究」の成果の一部である。資料閲覧につき、会津市立図書館のお世話になった。また『家世実紀』の能楽関連記事を拾い出してパソコンに打ち込む作業には田中亜紀子氏の、年表作成のための資料整理には小林久子氏の協力を得た。併せて感謝申し上げる。

Hosei University Repository

表A

	巻一頁	年号	西暦	月日	話題	曲目	備考
1	1-453	承応 2	1653	6月18日	将軍宣下祝儀老中招請囃子		
2	1-518	明暦 1	1655	4月14日	お媛様婚礼饗応囃子		
3	1-611	万治 1	1658	8月19日	婚礼相済祝儀囃子		
4	1-649	万治 2	1659	1月3日	謡初め		
5	2-41	寛文 1	1661	11月28日	お石様婚礼	囃子：高砂・東北・猩々。狂言	観世・喜多
6	2-65	寛文 2	1662	6月13日	北原采女宅能	賀茂・経政・松風・船弁慶・葵上・百万・老松	
7	2-414	寛文 9	1669	6月5日	家督祝儀老中招請囃子	高砂・芭蕉・祝言猩々。熊野・野宮・三輪・盛久・祝言氷室？	
8	2-414	寛文 9	1669	6月15日	家督祝儀老中招請囃子	弓八幡・東北・祝言猩々。羽衣・井筒・龍田	
9	2-463	寛文10	1670	1月3日	謡初め		
10	2-481	寛文10	1670	4月27日	中将様請侍謡		
11	2-507	寛文10	1670	11月3日	鶴拝領。囃子仰付。		
12	2-573	寛文11	1671	9月13日	於御城囃子	高砂・東北・松風・龍田・野宮・山姥・猩々。狂言。	
13	2-574	寛文11	1671	10月4日	通達		御囃子被仰付候時者、夜九つ時迄御門を可致出入候。
14	3-162	延宝 3	1675	4月2日	お亀様初御出馳走能・狂言		松田又八郎・同八三郎ニ御能、鷲伝右衛門・同小伝治ニ狂言被仰付
15	3-222	延宝 3	1675	9月25日	井深茂右衛門宅江御光覚	能：三番叟・賀茂・実盛・楊貴妃。黒塚・三輪・猩々	
16	3-223	延宝 3	1675	9月29日	友松勘十郎宅江御光覚	能：高砂・田村・熊野。紅葉狩・善知鳥・蟻通・養老。	
17	3-290	延宝 5	1677	1月9日	謡初め	能：高砂・江口・松風・桜川・猩々。狂言：居杭・三人片輪・附子	
18	3-311	延宝 5	1677	7月8日	通達		江戸より能役者共罷下候、宿々ニ而鼓謡之稽古候処ニ、町中若キ者共集り致立聞、悪口其外不作法之由、…

Hosei University Repository

	巻一頁	年号	西暦	月日	話題	曲目	備考
19	3-314	延宝5	1677	8月6日	三の丸舞台完成、御能興行	能:式三番・高砂・田村・東北・是界・藤戸・船弁慶・呉服。狂言:末ひろがり・居杭・朝比奈・太刀奪・腰折り	
20	3-315	延宝5	1677	8月21日	三の丸舞台完成・又御能仰付		此後度々御能拝見被仰付
21	3-319	延宝5	1677	10月27日	井深茂右衛門宅御光駕	能:和布刈・八島・井筒・檜風・当麻・鉢木・国栖。	
22	3-332	延宝6	1678	1月3日	謡初め		
23	3-332	延宝6	1678	1月5日	御座之間囃子・狂言。		目吉権大夫へ金五百疋。其外役者へ金百疋。
24	3-370	延宝6	1678	11月10日	重四郎様お目見のため御懇意之御方御招能	賀茂・めくら・忠度・猩大名・芭蕉・張良・居杭・遊行柳・釣狐・国栖・犬山伏・乱。夜:葛城・善知鳥・野守。不見不聞・節分。	保生将監・九郎ニ銀子拾弐枚ずつ。
25	3-425	延宝7	1679	10月22日	柳瀬三左衛門御茶差上候ニ付、御能興行		
26	3-425	延宝7	1679	10月28日	保科十郎右衛門御茶差上候ニ付、御囃子被仰付		
27	3-426	延宝7	1679	11月4日	北原采女御茶差上候ニ付、御囃子仰付		
28	3-449	延宝8	1680	1月6日	五日の謡初めを六日に延引	囃子:老松・東北・定家・龍田・高砂。狂言:末広がり	
29	3-525	天和1	1681	3月23日	将軍宣下并御家督祝儀老中招請能		午下刻御出、能五番。
30	3-525	天和1	1681	3月25日	将軍宣下并御家督祝儀能(高家衆・御詰衆他)		朝五時御出、能九番。
31	3-592	天和2	1682	2月13日	謡初め。	囃子:高砂・東北・松虫・春日龍神・猩々。狂言:末広がり・鶏婚・比丘貞	
32	3-621	天和2	1682	6月13日	国目付接待。囃子		
33	3-635	天和2	1682	7月9日	堀田筑前守接待。役者共へハ腰懸座敷ニ而御料理被下候。	囃子:龍田・清経・源氏供養・山姥・鵜飼。狂言:太刀奪・薩摩守。	
34	3-636	天和2	1682	7月11日	通達		国目付に料理進上の際、「囃子ハ不及申謡成とも御無用」

Hosei University Repository

	巻一頁	年号	西暦	月日	話題	曲目	備考
35	4 -399	元禄 1	1688	6 月 5 日	公方様能拝見。少将様（正容）、百万の能を演ず。	百万	「器用ニ拍子茂能候由」の上意を蒙る。
36	4 -406	元禄 1	1688	7 月25日	御城能興行	三番叟・高砂・田村・東北・百万・車僧・龍田・雲林院・紅葉狩・乱。狂言：末広がり・入間川・ろれん・禰宜山伏・首引。	
37	4 -408	元禄 1	1688	8 月21日	入部祝儀能	弓八幡・籠・江口・鵜・蟻通・東岸居士・海士。鍋八撥・萩大名・神鳴・子盗人・米市。	
38	4 -490	元禄 4	1691	2 月15日	お竹様ご婚礼囃子。		
39	4 -579	元禄 6	1693	10月29日	勧進能をめぐるスキャンダル		岡田又右衛門（御小姓頭）。大石梅軒。日吉弥右衛門（猿楽）。
40	4 -584	元禄 6	1693	12月22日	少将様（正容）厄年無事、御年忘能	白楽天・俊成忠度・采女・邯鄲・敦盛・百万・善知鳥・盛久・小鍛冶・蟻通・鞍馬天狗・養老。翁猿・茶壺・花子・宗論・八尾地蔵・遊全・胸突・禰宜山伏・片腹・米市。	
41	4 -595	元禄 7	1694	5 月晦日	通達		能の際の諸品紛失事件について
42	4 -597	元禄 7	1694	7 月 3 日	公方様講釈拝聴・仕舞拝見。少将様仕舞		
43	4 -616	元禄 8	1695	3 月12日	公方様講釈拝聴・御能拝見。少将様能	山姥	
44	4 -621	元禄 8	1695	5 月12日	阿部豊後邸にて公方様仕舞拝見。		
45	4 -640	元禄 8	1695	10月10日	お元様誕生祝儀能	老松・旅・龍田・桜川・春日龍神・車僧・半蔀・紅葉狩・小塩・祝言。包丁婿・附子・入間川・柿山伏・薩摩守・文山達・引かゝり。	
46	4 -641	元禄 8	1695	10月19日	西郷頼母宅光翁囃子。	老松・山姥・三輪・融・猩々。	

Hosei University Repository

	巻一頁	年号	西暦	月日	話題	曲目	備考
47	4-630	元禄8	1695	11月晦日	お元様御箸揃并新道完成祝儀能(8月10日、誕生の日の記事に含まれる)	氷室・頼政・弓八幡・柏崎・土蜘蛛・東岸居士・葵上・舎利・小督・殺生石・猩々。隠れ笠・荻大名・唐相撲・腹不立・茶壺・抜殻・蟹山伏・どぶかっちり・千切木	
48	5-57	元禄10	1697	2月28日	称号(松平姓)頂戴祝儀老中招請囃子		
49	5-57	元禄10	1697	閏2月5日	称号頂戴祝儀松平肥前守請待囃子		
50	5-57	元禄10	1697	閏2月15日	称号頂戴祝儀松平安岐守請待能		
51	5-68	元禄10	1697	5月9日	於江戸城奥舞台能興行、少将様演能	八島	
52	5-70	元禄10	1697	6月9日	於小書院囃子		
53	5-70	元禄10	1697	6月15日	称号頂戴祝儀於大書院、少将様仕舞拝見	囃子：老松・芭蕉・養老(以上三番少将)・田村・海士。狂言：末広がり	
54	5-137	元禄12	1699	4月13日	於江戸城御能拝見		
55	5-167	元禄12	1699	閏9月2日	御慰能興行	道明寺・頼政・葛城・藤戸・船弁慶・仏原・羅生門・芦刈・熊坂・夜討曽我・難波。八幡前・鞍盍人・悪坊・伯養・文山立・比丘貞・枕・以呂波・伯母ケ酒・三人片輪	
56	5-277	元禄14	1701	11月28日	通達		出家・社人・医者・浪人・町人・猿楽者之類、御目見且又願之筋決而取次間敷旨仰出
57	5-283	元禄15	1702	1月4日	通達		謡初家老共不及登城
58	5-313	元禄15	1702	9月21日	於松平美濃守(柳沢吉保)邸将軍御能拝見		
59	5-481	宝永3	1706	9月3日	於松平美濃守邸将軍御能拝見。依御所望仕舞。	仕舞：東北	
60	5-492	宝永3	1706	12月11日	於松平美濃守邸将軍仕舞拝見。依御所望仕舞・謡。		

Hosei University Repository

	巻—頁	年号	西暦	月日	話題	曲目	備考
61	6－7	宝永7	1710	5月13日	将軍宣下祝儀老中招請能	翁・三番叟・高砂・羽衣・祝言。狂言：末広。	
62	6－8	宝永7	1710	5月16日	将軍宣下祝儀老中招請能。二度目。	翁・三番叟・弓八幡・田村・江口・張良・祝言忠賀。狂言：恵比寿見沙門・茶壺。	
63	6－9	宝永7	1710	5月19日	将軍宣下祝儀老中招請能。三度目。	翁・三番叟・老松・嶺・熊谷・道成寺・祝言岩舟。狂言：麻生。	
64	6－9	宝永7	1710	5月21日	将軍宣下祝儀老中招請能。仙渓院(正経室)様被為入、祝儀能狂言被仰付。		
65	6－25	宝永7	1710	11月13日	於江戸城　御能拝見。八丈織拝領。		
66	6－197	正徳4	1714	5月9日	将軍宣下祝儀老中招請囃子。於大書院	囃子：高砂・東北・祝言。	
67	6－197	正徳4	1714	5月9日	将軍宣下祝儀老中招請囃子。於小書、院老中御御起後	囃子：龍田・芦刈・祝言。狂言。	
68	6－290	享保1	1716	11月4日	将軍宣下祝儀老中招請能	翁・三番叟・淡路・六浦・祝言岩舟。	
69	6－291	享保1	1716	11月7日	将軍宣下祝儀老中招請能。二度目。	翁・三番叟・老松・八島・東北・邯鄲・祝言金札。麻生・入間川。	
70	6－291	享保1	1716	11月9日	将軍宣下祝儀老中招請能。三度目	翁・三番叟・弓八幡・忠度・芭蕉・張良・乱。懐中婿・仁王。	
71	6－340	享保3	1718	1月3日	謡初。若殿様(正甫)登城、杯拝領。		
72	7－69	享保11	1726	5月6日	理髪役祝儀老中招請囃子	囃子：高砂・東北・祝言。羽衣・芦刈・祝言。御所望：三輪・江口・賀茂。狂言。	
73	7－302	享保15	1730	6月19日	通達		元禄16年5月9日江戸城での能について

Hosei University Repository

	巻一頁	年号	西暦	月日	話題	曲目	備考
74	7-378	享保16	1731	11月15日	徳翁(正容)時代の先格を老中へ届け出	謡初の登城・勅使院使参向の節のこと	
75	8-6	享保20	1735	2月28日	初御目見祝儀謡御付		金春八左衛門ほか
76	8-43	元文1	1736	4月5日	家督祝儀老中招請囃子	弓八幡・東北・祝言 寿之囃子 龍田・祝言 高砂・羽衣・祝言	
77	8-43	元文1	1736	4月5日	栄光院様江御馳走囃子。御怖事之内、謡。	山姥・芦刈・蟻。一調。狂言。	
78	8-43	元文1	1736	4月5日	係の者への通達		「御囃子有之時、面々其役々を相守猥りに不可見物旨…」
79	8-136	元文2	1737	8月11日	竹千代様御誕生御祝儀老中招請能	能：翁・三番叟・弓八幡・東北・祝言呉服。狂言：麻生。	
80	8-136	元文2	1737	8月11日	係の者への通達		「御能有之時、面々其役を相守り、猥りに不可致見物旨…」
81	8-138	元文2	1737	8月16日	竹千代様御誕生御祝儀老中招請能	能：翁・三番叟・高砂・矢今・六浦・強羅・祝言 金札。狂言：末広がり・こんくわひ	
82	8-139	元文2	1737	8月21日	竹千代様御誕生御祝儀老中招請能	能：翁・三番叟・老松・江口・道成寺・橋弁慶・祝言。狂言：粟田口・舟渡婿	
83	8-141	元文2	1737	9月21日	お友様結納接待囃子	囃子：高砂・東北・祝言 猩々。	
84	8-144	元文2	1737	10月15日	長坂采軒、徳翁生前のコトバを伝える		「軍法之筋大将受前ニ有之処、委細不相尋、個書神書謡等ニ被入御精、御中年被為遂軍法之筋ニ付御差支被遊御事多被成御座、甚以御後悔被思召候…」
85	8-220	元文4	1739	6月	常詰御次番佐治十兵衛、御預ケ之書物并能装束紛失		8月に上屋敷で確認済みの装束書上
86	8-278	元文5	1740	11月	お常様(正容の娘)結納 客人招請囃子		
87	8-412	寛保2	1742	10月23日	将軍吉宗転任兼任祝儀老中招請能	翁・三番叟・高砂・羽衣・祝言養老。狂言末広がり。御跡寿之能 三輪・祝言岩舟。	
88	8-415	寛保2	1742	10月27日	大納言(家治)元服祝儀老中招請囃子	囃子：弓八幡・東北・祝言呉服。御跡寿之囃子 龍田・祝言猩々。	

Hosei University Repository

	巻—頁	年号	西暦	月日	話題	曲目	備考
89	8-418	寛保2	1742	11月2日	両度の招請終了、祝儀振舞能。	能：三番叟・難波・八島・江口・船弁慶・祝言金札。狂言：張蛸・居杭。	
90	8-470	寛保3	1743	12月20日	丸山勝左衛門、江戸表の様子を上申		上屋敷にて三味線・小唄・浄瑠璃等と併せ小謡まで禁止と聞き反論。「謡之儀ハ、武家ニ而当時一之芸成来候品ニ候得バ、仮令表御長屋等ニ而弐三人寄合謡有之迚、他之耳障ニ可成儀とも不被存候」
91	8-510	延享1	1744	4月22日	お常様婚礼	囃子：高砂・東北・猩々。狂言。	金春太夫小謡。
92	8-514	延享1	1744	4月22日	少将様(松平容貞)御杯事	囃子：龍田・老松。	
93	8-559	延享1	1744	11月25日	お友様(容貞の室)輿入れ	囃子：高砂・東北・祝言猩々。小舞。	
94	9-94	延享3	1746	9月11日	将軍宣下祝儀老中招請能	三番叟・高砂・六浦・祝言呉服。御好ニ而：月宮殿・祝言金札	銀弐拾舞・紐三疋・干鯛一箱。
95	9-98	延享3	1746	9月16日	将軍宣下祝儀御振舞・二度目	三番叟・加茂・籠・松風・葵上・祝言養老。狂言：恵比寿大黒・千鳥	
96	9-98	延享3	1746	9月22日	将軍宣下祝儀御振舞・三度目	三番叟・放生川・田村・井筒・鉢木・乱。狂言：末広がり・花子	
97	9-330	寛延3	1750	3月18日	観世大夫(元章)勧進能興行ニ付銀子反物被下		寛延2年12月13日に上屋敷来訪。明暦2年6月神田橋勧進能の例を挙げて先例通りの援助を願い出る。
98	10-74	宝暦6	1756	12月1日	通達		謡初に出仕すべきこと
99	10-155	宝暦7	1757	8月25日	家督祝儀老中招請囃子	高砂・東北・祝言老松。御跡寿囃子：龍田・祝言猩々。	
100	10-279	宝暦10	1760	2月13日	勅使馳走能		本来は七日に能すはずのところ、火事のため延引。曲名なし
101	10-305	宝暦10	1760	8月7日	御能拝見		大御所様(徳川家重)へ御暇被遣御能仰付候間、御見物可被成旨上意之由…
102	10-305	宝暦10	1760	9月5日	公家衆馳走能見物		将軍宣下(9月2日)の後の能し。

Hosei University Repository

	巻—頁	年号	西暦	月日	話題	曲目	備考
103	10-309	宝暦10	1760	11月2日	転任兼任祝儀老中招請能	翁・三番叟・志賀・羽衣・祝言岩舟。狂言末ひろがり。三輪・祝言金札(老中退席後の祝儀)	
104	10-315	宝暦10	1760	11月11日	将軍宣下祝儀老中招請能(御跡寿能)	翁・三番叟・氷室・半蔀・祝言葉老。狂言：麻生。鶴亀・祝言呉服	
105	10-316	宝暦10	1760	11月22日	転任兼任三度目の振舞能	翁・三番叟・加茂・八嶋・野宮・国栖・祝言高砂。狂言：夷大黒・太刀奪・八嶋間那須。	
106	11-327	宝暦11	1761	2月4日	恩能上演の是非		大目付黒川黒河内内勇右衛門が「恩能」上演について疑義申し立てたが、能組も仕立て興行も決まっているので撤回。前年老中招請能を二度から一度に減らした節の役者の言い分引用。「御先格ニ逸壱度ニ被成候而者、脇々之御模りニ相成、家柔に障候」
107	10-620	明和3	1766	5月7日	理髪役祝儀老中招請囃子	高砂・羽衣・祝言。	
108	11-177	明和5	1768	2月5日	二十五歳祝儀囃子		「七つ時分より夜中迄於小将院御前御囃子拝見」
109	11-315	明和7	1770	1月15日	評定始(本来は13日)		「十三日者御日柄故御謡等も難被為候ニ付…」
110	11-389	安永1	1772	4月23日	会津下向の際、能役者を連れ下ること中止		上屋敷類焼後の緊縮財政策。今春平五郎・岡田七右衛門
111	12-197	安永9	1780	6月25日	養子内定祝儀小謡		金春大夫・同平五郎・平右衛門。
112	12-218	天明1	1781	2月7日	中将(松平恭定)先立百度祝儀		「今日内々御祝ひ被遊、若殿様、…外ニ佐藤永努・能役者九人、被為招版々敷御祝ひ有之」
113	12-283	天明1	1781	10月9日	田沼意次へ能装束進上		「主殿様へも御模様次第被遣方無之候而ハ相成間敷候処、能を至而御好之由ニ候間、能装束之類又ハ御有合之内而抔可宜由……主殿様へハ御能装束長絹地絣之大口被遣」
114	12-398	天明3	1783	12月15日	若殿様(松平容詮。容章の子)婚礼		「従若殿様御肴被遣御加有而御結ニ相成小謡被仰付」
115	12-613	天明7	1787	2月	家中の子弟の教育(田中加兵衛の意見)		「尤学問不得手、武事ニも疎く相見候者ハ、何歟其者之得手之内雅楽・猿楽・茶湯等、一芸極候儀可相成者、…」

Hosei University Repository

	巻一頁	年号	西暦	月日	話題	曲目	備考
116	13-188	天明 8	1788	4 月 5 日	学校令状の内		「二十歳後ニ至候者ハ、弓馬・刀槍・猟楽・神道・茶之湯等、勝手次第ニ相学候様…」
117	13-216	天明 8	1788	6 月26日	江戸常詰御通以上の子弟の学問修行について		「前々為御慰御能被仰付候節、取立候者も其衆被仰付候儀有之…」
118	13-540	寛政 3	1791	10月29日	家中の老人に料理を下さる。囃子あり。	囃子：弓八幡・熊野・龍田・融・養老・唐船・鵜飼・付祝言。	御囃子之節御用人御当番之者、御式方役懸り之御目付も致着座候様……四等以上之老人へ御料理被下候後、於小書院一同ニ御囃子拝見被仰付。
119	14-81	寛政 5	1793	8 月23日	囃子拝見の作法		「北原内膳江戸へ被為召…（手を上げるか下げるか例を挙げて説明する箇所）…又者表御座敷御囃子拝見、或者馬見所并奥ニ而煙草盆出候儀、表御座者曲木腰掛主衆頼参候節者苦敷無之候へ共、御旗本衆抔之節者致遠慮可然」
120	14-102	寛政 5	1793	10月28日	若殿様初下向祝儀囃子（於小書院）		
121	14-118	寛政 6	1794	1 月28日	家中の老人に酒を下さる。囃子あり。		「…軽々ニ至迄於御城御酒被下、且独礼以上之者共へ御囃子拝見可被仰付旨被仰出……若殿様麻御上下被為召御出ニ而、御酒被下候後於小書院一同御囃子拝見被仰付」
122	14-589	寛政12	1800	4 月 5 日	公儀の精進日は謡停止（江戸表）		「…以上御日柄御精進日謡鳴物停止刻限通り御門魚鳥留…」
123	15-111	享和 1	1801	5 月 9 日	公儀の精進日に気遣うこと（会津）		「…御日柄御精進鳴物等、去年江戸表之義御吟味被仰付、夫々被仰出有之候を以、当会津之儀凡而御日柄ニハ御用地向ニ而謡鳴物致遠慮義ニ候処……追而日並之内六月七日ハ謡鳴物不苦旨被仰出之」
124	15-221	享和 2	1802	2 月 6 日	節分囃子（二月九日条の記事）		「正月二十八日御餅つき、二月六日歳暮御祝ひ、此夕大豆囃子有之、今九日元日之御祝…」

Hosei University Repository

表B

種類	曲目	年号	西暦	月日	備考	催しの種類
間語り	那須	宝暦十	1760	11/22		将軍宣下祝儀老中招請能
一調	不明	元文元	1736	4/7	栄光院様江御馳走	家督継承祝儀老中招請囃子
謡	不明	享保二十	1735	2/28	金春八左衛門他	初御目見祝儀
謡	不明	元文元	1736	4/15	御杯事之内	家督継承祝儀老中招請囃子
翁	翁	宝永七	1710	5/13		将軍宣下祝儀老中招請能
翁	翁	宝永七	1710	5/16		将軍宣下祝儀老中招請能
翁	翁	宝永七	1710	5/19		将軍宣下祝儀老中招請能
翁	翁	享保元	1716	11/4		将軍宣下祝儀老中招請能
翁	翁	享保元	1716	11/7		将軍宣下祝儀老中招請能
翁	翁	享保元	1716	11/9		将軍宣下祝儀老中招請能
翁	翁	元文二	1737	8/11		竹千代様御誕生祝儀老中招請能
翁	翁	元文二	1737	8/16		竹千代様御誕生祝儀老中招請能
翁	翁	元文二	1737	8/21		竹千代様御誕生祝儀老中招請能
翁	翁	寛保二	1742	10/23		吉宗転任・家重兼任祝儀老中招請能
翁	翁	宝暦十	1760	11/2		家治転任兼任祝儀老中招請能
翁	翁	宝暦十	1760	11/11		将軍宣下祝儀老中招請能
翁	翁	宝暦十	1760	11/22		将軍宣下祝儀老中招請能
狂言	三人片輪	元禄十二	1699	9/2	閏九月二日	御慰能
狂言	愚坊	元禄十二	1699	9/2	閏九月二日	御慰能
狂言	朝比奈	延宝五	1677	8/6		三の丸舞台完成能興行
狂言	麻生	宝永七	1710	5/19		将軍宣下祝儀老中招請能
狂言	麻生	享保元	1716	11/7		将軍宣下祝儀老中招請能
狂言	麻生	元文二	1737	8/11		竹千代様御誕生祝儀老中招請能
狂言	麻生	宝暦十	1760	11/11		将軍宣下祝儀老中招請能
狂言	桑田口	元文二	1737	8/21		竹千代様御誕生祝儀老中招請能
狂言	居杭	延宝五	1677	1/9		謡初め
狂言	居杭	延宝五	1677	8/6		三の丸舞台完成能興行
狂言	居杭	延宝六	1678	11/10		亜四郎様御目見え御懇意之御方招能
狂言	居杭	寛保二	1742	11/2		両度招請終了祝儀振舞能
狂言	以呂波	元禄十二	1699	9/2	閏九月二日	御慰能
狂言	犬山伏	延宝六	1678	11/10		亜四郎様御目見え御懇意之御方招能
狂言	入間川	元禄元	1688	7/25		御城能興行
狂言	入間川	元禄八	1695	10/10		お元様誕生祝儀能
狂言	入間川	享保元	1716	11/7		将軍宣下祝儀老中招請能
狂言	鞍掛	元禄六	1693	12/22		少将様厄年難事、年忘能
狂言	夷大黒	宝暦十	1760	11/22		将軍宣下祝儀老中招請能
狂言	恵比寿大黒	延享三	1746	9/16		将軍宣下祝儀老中招請能
狂言	恵比寿毘沙門	宝永七	1710	5/16		将軍宣下祝儀老中招請能
狂言	伯母ケ酒	元禄十二	1699	9/2	閏九月二日	御慰能
狂言	懐中鏡	享保元	1716	11/9		将軍宣下祝儀老中招請能
狂言	柿山伏	元禄八	1695	10/10		お元様誕生祝儀能

Hosei University Repository

種類	曲目	年号	西暦	月日	備考	催しの種類
狂言	隠れ笠	元禄八	1695	11/30		お元様若槐井新道完成祝儀能
狂言	片旋	元禄六	1693	12/22		少将様厄年無事、年忘能
狂言	賀山伏	元禄八	1695	11/30		お元様若槐井新道完成祝儀能
狂言	神鳴	元禄元	1688	8/21		入部祝儀能
狂言	雁盗人	元禄十二	1699	9/2	閏九月二日	御慰能
狂言	首引	元禄元	1688	7/25		御城能興行
狂言	殿祈り	延宝五	1677	8/6		三の丸舞台完成能興行
狂言	子盗人	元禄元	1688	8/21		入部祝儀能
狂言	こんくわひ	元文二	1737	8/21		竹千代様御誕生祝儀老中招請能
狂言	薩摩守	天和二	1682	7/9		堀田筑前守接待
狂言	薩摩守	元禄八	1695	10/10		お元様誕生祝儀能
狂言	三人片輪	延宝五	1677	1/9		謡初め
狂言	宗論	元禄六	1693	12/22		少将様厄年無事、年忘能
狂言	末広	宝永七	1710	5/13		将軍宣下祝儀老中招請能
狂言	末ひろがり	延宝五	1677	8/6		三の丸舞台完成能興行
狂言	末ひろがり	元文二	1737	8/16		竹千代様御誕生祝儀老中招請能
狂言	末ひろがり	宝暦十	1760	11/2		家治転任兼任祝儀老中招請能
狂言	末広がり	延宝八	1680	1/6		謡初め
狂言	末広がり	天和二	1682	2/13		謡初め
狂言	末広がり	元禄元	1688	7/25		御城能興行
狂言	末広がり	元禄十	1697	6/15		称号頂戴祝儀於大奥院少将様仕舞拝見
狂言	末広がり	寛保二	1742	10/23		吉宗転任・家重兼任祝儀老中招請能
狂言	末広がり	延享三	1746	9/22		将軍宣下祝儀老中招請能
狂言	節分	延宝六	1678	11/10		亜四郎様御目見御慰意之御方招能・夜
狂言	千切木	元禄八	1695	11/30		お元様若槐井新道完成祝儀能
狂言	太刀穿	延宝五	1677	8/6		三の丸舞台完成能興行
狂言	太刀穿	天和二	1682	7/9		堀田筑前守接待
狂言	太刀穿	宝暦十	1760	11/22		将軍宣下祝儀老中招請能
狂言	千鳥	延享三	1746	9/16		将軍宣下祝儀老中招請能
狂言	茶壺	元禄六	1693	12/22		少将様厄年無事、年忘能
狂言	茶壺	元禄八	1695	11/30		お元様若槐井新道完成祝儀能
狂言	茶壺	宝永七	1710	5/16		将軍宣下祝儀老中招請能
狂言	釣狐	延宝六	1678	11/10		亜四郎様御目見慰意之御方招能
狂言	唐相撲	元禄八	1695	11/30		お元様若槐井新道完成祝儀能
狂言	どぶかっちり	元禄八	1695	11/30		お元様若槐井新道完成祝儀能
狂言	鵺八撥	元禄元	1688	8/21		入部祝儀能
狂言	仁王	享保元	1716	11/9		将軍宣下祝儀老中招請能
狂言	鶏頭	天和二	1682	2/13		謡初め
狂言	抜殻	元禄八	1695	11/30		お元様若槐井新道完成祝儀能
狂言	福宜山伏	元禄元	1688	7/25		御城能興行
狂言	福宜山伏	元禄六	1693	12/22		少将様厄年無事、年忘能

Hosei University Repository

種類	曲目	年号	西暦	月日	備考	催しの種類
狂言	萩大名	延宝六	1678	11/10		重四郎様御目見え御慰意之御方招能
狂言	萩大名	元禄元	1688	8/21		入部祝儀能
狂言	萩大名	元禄八	1695	11/30		お元様若槻井新道完成祝儀能
狂言	伯母	元禄十二	1699	9/2	閏九月二日	御慰能
狂言	張蜻	寛保二	1742	11/2		再度招請終了祝儀振舞能
狂言	花子	元禄六	1693	12/22		少将様厄年無事、年忘能
狂言	花子	延享三	1746	9/22		将軍宣下祝儀老中招請能
狂言	腹不立	元禄八	1695	11/30		お元様若槻井新道完成祝儀能
狂言	引かゝり	元禄八	1695	10/10		お元様誕生祝儀能
狂言	比丘貞	天和二	1682	2/13		謡初め
狂言	比丘貞	元禄十二	1699	9/2	閏九月二日	御慰能
狂言	梟	元禄十二	1699	9/2	閏九月二日	御慰能
狂言	附子	延宝五	1677	1/9		謡初め
狂言	附子	元禄八	1695	10/10		お元様誕生祝儀能
狂言	舟渡蜻	元文二	1737	8/21		竹千代様御誕生祝儀老中招請能
狂言	不見不聞	延宝六	1678	11/10		重四郎様御目見御慰意之御方招能・夜
狂言	文山立	元禄十二	1699	9/2	閏九月二日	御慰能
狂言	文山達	元禄八	1695	10/10		お元様誕生祝儀能
狂言	不明	寛文元	1661	9/13		お石様婚礼
狂言	不明	延宝三	1675	4/2	鷲伝右衛門・同小伝治	於御城囃子
狂言	不明	延宝六	1678	1/5	日吉権大夫他	お亀様初御出馳走
狂言	不明	正徳四	1714	5/9	於小書院	将軍宣下祝儀老中招請能
狂言	不明	享保十一	1726	5/6	御所望	将軍宣下祝儀老中招請囃子
狂言	不明	元文元	1736	4/7	栄光院様江御馳走	理髪役祝儀老中招請囃子
狂言	不明	延享元	1744	4/22		家督継承祝儀老中招請囃子
狂言	不明	寛文元	16611	11/28		お常様婚礼
狂言	包丁蜻	元禄八	1695	10/10		お元様誕生祝儀能
狂言	胸突	元禄六	1693	12/22		少将様厄年無事、年忘能
狂言	めくら	延宝六	1678	11/10		重四郎様御目見え御慰意之御方招能
狂言	八尾地蔵	元禄六	1693	12/22		少将様厄年無事、年忘能
狂言	八幡前	元禄十二	1699	9/2	閏九月二日	御慰能
狂言	遊全	元禄六	1693	12/22		少将様厄年無事、年忘能
狂言	米市	元禄元	1688	8/21		入部祝儀能
狂言	米市	元禄六	1693	12/22		少将様厄年無事、年忘能
狂言	ろれん	元禄元	1688	7/25		御城能興行
小舞	不明	延享元	1744	4/22	金春大夫	お常様婚礼
小舞	不明	安永九	1780	6/25	金春大夫・同平五郎・平右衛門	養子内定祝儀
小舞	不明	延享元	1744	11/25		お友様(容貞夏)輿入れ
三番叟	三番叟	延宝三	1675	9/25		井深茂右衛門宅光駕
三番叟	三番叟	元禄元	1688	7/25		御城能興行
三番叟	三番叟	宝永七	1710	5/13		将軍宣下祝儀老中招請能

Hosei University Repository

種類	曲目	年号	西暦	月日	備考	催しの種類
三番叟	三番叟	宝永七	1710	5/16		将軍宣下祝儀老中招請能
三番叟	三番叟	宝永七	1710	5/19		将軍宣下祝儀老中招請能
三番叟	三番叟	享保元	1716	11/4		将軍宣下祝儀老中招請能
三番叟	三番叟	享保元	1716	11/7		将軍宣下祝儀老中招請能
三番叟	三番叟	享保元	1716	11/9		将軍宣下祝儀老中招請能
三番叟	三番叟	元文二	1737	8/11		竹千代様御誕生祝儀老中招請能
三番叟	三番叟	元文二	1737	8/16		竹千代様御誕生祝儀老中招請能
三番叟	三番叟	元文二	1737	8/21		竹千代様御誕生祝儀老中招請能
三番叟	三番叟	寛保二	1742	10/23		吉宗転任・家重兼任祝儀老中招請能
三番叟	三番叟	寛保二	1742	11/2		両度招請終了祝儀振舞能
三番叟	三番叟	延享三	1746	9/11		将軍宣下祝儀老中招請能
三番叟	三番叟	延享三	1746	9/16		将軍宣下祝儀老中招請能
三番叟	三番叟	延享三	1746	9/22		将軍宣下祝儀老中招請能
三番叟	三番叟	宝暦十	1760	11/2		家治転任兼任祝儀老中招請能
三番叟	三番叟	宝暦十	1760	11/11		将軍宣下祝儀老中招請能
三番叟	三番叟	宝暦十	1760	11/22		将軍宣下祝儀老中招請能
式三番	式三番	延宝五	1677	8/6		三の丸舞台完成能興行
仕舞	東北	宝永三	1706	9/3	少将(正容)	於松平英濃守邸将軍御能拝見
仕舞？	海士	元禄十	1697	6/15		称号頂戴祝儀於大曽院少将様仕舞拝見
仕舞？	老松	元禄十	1697	6/15	少将	称号頂戴祝儀於大曽院少将様仕舞拝見
仕舞？	田村	元禄十	1697	6/15		称号頂戴祝儀於大曽院少将様仕舞拝見
仕舞？	芭蕉	元禄十	1697	6/15	少将	称号頂戴祝儀於大曽院少将様仕舞拝見
仕舞？	養老	元禄十	1697	6/15	少将	称号頂戴祝儀於大曽院少将様仕舞拝見
能	葵上	寛文二	1662	6/13		北原采女宅能
能	葵上	元禄八	1695	11/30		お元様菊橋井新道完成祝儀能
能	葵上	延享三	1746	9/16		将軍宣下祝儀老中招請能
能	芦刈	元禄十二	1699	9/2	閏九月二日	御慰能
能	敦盛	元禄六	1693	12/22		少将様厄年無事、年忘能
能	海士	元禄元	1688	8/21		入部祝儀能
能	蟻通	延宝三	1675	9/29		友松勘十郎宅光覚
能	蟻通	元禄元	1688	8/21		入部祝儀能
能	蟻通	元禄六	1693	12/22		少将様厄年無事、年忘能
能	淡路	享保元	1716	11/4		将軍宣下祝儀老中招請能
能	井筒	延宝五	1677	10/27		井深茂右衛門宅光覚
能	井筒	延享三	1746	9/22		将軍宣下祝儀老中招請能
能	善知鳥	延宝三	1675	9/29		友松勘十郎宅光覚
能	善知鳥	元禄六	1693	12/22		少将様厄年無事、年忘能
能	采女	元禄六	1693	12/22		少将様厄年無事、年忘能
能	霜林院	元禄元	1688	7/25		御城能興行
能	江口	延宝五	1677	1/9		謡初め
能	江口	元禄元	1688	8/21		入部祝儀能

Hosei University Repository

種類	曲目	年号	西暦	月日	備考	催しの種類
能	江口	宝永七	1710	5/16		将軍宣下祝儀老中招請能
能	江口	元文二	1737	8/21		竹千代様御誕生祝儀老中招請能
能	江口	寛保二	1742	11/2		両度招請終了祝儀猿舞能
能	箙	元禄元	1688	8/21		入部祝儀能
能	箙	元禄八	1695	10/10		お元様誕生祝儀能
能	箙	宝永七	1710	5/19		将軍宣下祝儀老中招請能
能	箙	延享三	1746	9/16		将軍宣下祝儀老中招請能
能	老松	寛文二	1662	6/13		北原采女宅能
能	老松	元禄八	1695	10/10		お元様誕生祝儀能
能	老松	宝永七	1710	5/19		将軍宣下祝儀老中招請能
能	老松	享保元	1716	11/7		将軍宣下祝儀老中招請能
能	老松	元文二	1737	8/21		竹千代様御誕生祝儀老中招請能
能	小塩	元禄八	1695	10/10		お元様誕生祝儀能
能	柏崎	元禄八	1695	11/30		お元様若松井新道完成祝儀能
能	春日龍神	元禄八	1695	10/10		お元様誕生祝儀能
能	葛城	元禄十二	1699	9/2	閏九月二日	御慰能
能	加茂	延享三	1746	9/16		将軍宣下祝儀老中招請能
能	加茂	宝暦十	1760	11/22		将軍宣下祝儀老中招請能
能	賀茂	寛文二	1662	6/13		北原采女宅能
能	賀茂	延宝三	1675	9/25		井深茂右衛門宅光賦
能	賀茂	延宝六	1678	11/10	保生将監・九郎	風四郎様御目見え御懇意之御方招能
能	鵜飼	元禄六	1693	12/22		少将様厄年無事、年忘能
能	鵜飼	享保元	1716	11/7		将軍宣下祝儀老中招請能
能	国栖	延宝五	1677	10/27		井深茂右衛門宅光賦
能	国栖	宝暦十	1760	11/22		将軍宣下祝儀老中招請能
能	熊坂	元禄十二	1699	9/2	閏九月二日	御慰能
能	鞍馬天狗	元禄六	1693	12/22		少将様厄年無事、年忘能
能	車僧	元禄元	1688	7/25		御城能興行
能	黒塚	延宝三	1675	9/25		井深茂右衛門宅光賦
能	月宮殿	延享三	1746	9/11	御好二而	将軍宣下祝儀老中招請能
能	小鍛冶	元禄六	1693	12/22		少将様厄年無事、年忘能
能	小督	元禄八	1695	11/30		お元様若松井新道完成祝儀能
能	桜川	延宝五	1677	1/9		謡初め
能	桜川	元禄八	1695	10/10		お元様誕生祝儀能
能	実盛	延宝三	1675	9/25		井深茂右衛門宅光賦
能	志賀	宝暦十	1760	11/2		家治転任兼任祝儀老中招請能
能	舎利	元禄八	1695	11/30		お元様若松井新道完成祝儀能
能	祝言	元禄八	1695	10/10	曲名不明	お元様誕生祝儀能
能	祝言	宝永七	1710	5/13	曲名不明	将軍宣下祝儀老中招請能
能	祝言	元文二	1737	8/21	曲名不明	竹千代様御誕生祝儀老中招請能
能	祝言岩舟	宝永七	1710	5/19		将軍宣下祝儀老中招請能

Hosei University Repository

種類	曲目	年号	西暦	月日	備考	催しの種類
能	祝言岩舟	享保元	1716	11/4		将軍宣下祝儀老中招請能
能	祝言岩舟	寛保二	1742	10/23	御跡舞之能	吉宗転任・家重兼任祝儀老中招請能
能	祝言岩舟	宝暦十	1760	11/2		家治転任兼任祝儀老中招請能
能	祝言金札	享保元	1716	11/7		将軍宣下祝儀老中招請能
能	祝言金札	元文二	1737	8/16		竹千代様御誕生祝儀老中招請能
能	祝言金札	寛保二	1742	11/2		再度招請終了祝儀摂舞能
能	祝言金札	延享三	1746	9/11	御好二而	将軍宣下祝儀老中招請能
能	祝言金札	宝暦十	1760	11/2	御跡舞之能	家治転任兼任祝儀老中招請能
能	祝言呉服	延宝五	1677	8/6		三の丸舞台完成能興行
能	祝言呉服	元文二	1737	8/11		竹千代様御誕生祝儀老中招請能
能	祝言呉服	延享三	1746	9/11		将軍宣下祝儀老中招請能
能	祝言呉服	宝暦十	1760	11/11	御跡舞之能	将軍宣下祝儀老中招請能
能	祝言志賀	宝永七	1710	5/16		将軍宣下祝儀老中招請能
能	祝言猩々	延宝三	1675	9/25		井深茂右衛門宅光賞
能	祝言猩々	延宝五	1677	1/9		謡初め
能	祝言猩々	元禄八	1695	11/30		お元様着掛并新道完成祝儀能
能	祝言高砂	宝暦十	1760	11/22		将軍宣下祝儀老中招請能
能	祝言養老	寛保二	1742	10/23		吉宗転任・家重兼任祝儀老中招請能
能	祝言養老	延享三	1746	9/16		将軍宣下祝儀老中招請能
能	祝言養老	宝暦十	1760	11/11		将軍宣下祝儀老中招請能
能	俊成忠度	元禄六	1693	12/22		少将様厄年無事、年忘能
能	是界	延宝五	1677	8/6		三の丸舞台完成能興行
能	殺生石	元禄八	1695	11/30		お元様着掛并新道完成祝儀能
能	当麻	延宝五	1677	10/27		井深茂右衛門宅光賞
能	高砂	延宝三	1675	9/29		友松勘十郎宅光賞
能	高砂	延宝五	1677	1/9		謡初め
能	高砂	延宝五	1677	8/6		三の丸舞台完成能興行
能	高砂	元禄元	1688	7/25		御城能興行
能	高砂	宝永七	1710	5/13		将軍宣下祝儀老中招請能
能	高砂	元文二	1737	8/16		竹千代様御誕生祝儀老中招請能
能	高砂	寛保二	1742	10/23		吉宗転任・家重兼任祝儀老中招請能
能	高砂	延享三	1746	9/11		将軍宣下祝儀老中招請能
能	忠度	享保元	1716	11/9		将軍宣下祝儀老中招請能
能	龍田	元禄元	1688	7/25		御城能興行
能	田村	延宝三	1675	9/29		友松勘十郎宅光賞
能	田村	延宝五	1677	8/6		三の丸舞台完成能興行
能	田村	元禄元	1688	7/25		御城能興行
能	田村	宝永七	1710	5/16		将軍宣下祝儀老中招請能
能	田村	延享三	1746	9/22		将軍宣下祝儀老中招請能
能	楊風	延宝五	1677	10/27		井深茂右衛門宅光賞
能	張良	宝永七	1710	5/16		将軍宣下祝儀老中招請能

Hosei University Repository

種類	曲目	年号	西暦	月日	備考	催しの種類
能	張良	享保元	1716	11/9		将軍宣下祝儀老中招請能
能	張良	元文二	1737	8/16		竹千代様御誕生祝儀老中招請能
能	土蜘蛛	元禄八	1695	11/30		お元様着揃井新道完成祝儀能
能	経政	寛文二	1662	6/13		北原采女宅能
能	鶴亀	宝暦十	1760	11/11	御跡舞之能	将軍宣下祝儀老中招請能
能	東岸居士	元禄元	1688	8/21		入部祝儀能
能	東岸居士	元禄八	1695	11/30		お元様着揃井新道完成祝儀能
能	道成寺	宝永七	1710	5/19		将軍宣下祝儀老中招請能
能	道成寺	元文二	1737	8/21		竹千代様御誕生祝儀老中招請能
能	東北	延宝五	1677	8/6		三の丸舞台完成能興行
能	東北	元禄元	1688	7/25		御城能興行
能	東北	享保元	1716	11/7		将軍宣下祝儀老中招請能
能	東北	元文二	1737	8/11		竹千代様御誕生祝儀老中招請能
能	道明寺	元禄十二	1699	9/2	閏九月二日	御慰能
能	難波	元禄十二	1699	9/2	閏九月二日	御慰能
能	難波	寛保二	1742	11/2		再度招請終了祝儀振舞能
能	鵜	元禄元	1688	8/21		入部祝儀能。老中様御起後
能	野宮	宝暦十	1760	11/22		将軍宣下祝儀老中招請能
能	野守	延宝六	1678	11/10	保生将監・九郎	亜四郎様御目見御懇意之御方招能・夜
能	白楽天	元禄六	1693	12/22		少将様厄年無事年忘能。老中様御起後
能	羽衣	宝永七	1710	5/13		将軍宣下祝儀老中招請能
能	羽衣	寛保二	1742	10/23		吉宗転任・家重兼任祝儀老中招請能
能	羽衣	宝暦十	1760	11/2		家治転任兼任祝儀老中招請能
能	半蔀	元禄八	1695	10/10		お元様誕生祝儀能
能	半蔀	宝暦十	1760	11/11		将軍宣下祝儀老中招請能
能	橋弁慶	元文二	1737	8/21		竹千代様御誕生祝儀老中招請能
能	芭蕉	享保元	1716	11/9		将軍宣下祝儀老中招請能
能	鉢木	延宝五	1677	10/27		井深茂右衛門宅光覚
能	鉢木	延享三	1746	9/22		将軍宣下祝儀老中招請能
能	氷室	元禄八	1695	11/30		お元様着揃井新道完成祝儀能
能	氷室	宝暦十	1760	11/11		将軍宣下祝儀老中招請能
能	百万	寛文二	1662	6/13		北原采女宅能
能	百万	元禄元	1688	6/5	少将(正容)	将軍綱吉御能拝見
能	百万	元禄元	1688	7/25		御城能興行
能	百万	元禄六	1693	12/22		少将様厄年無事、年忘能
能	藤戸	延宝五	1677	8/6		三の丸舞台完成能興行
能	藤戸	元禄十二	1699	9/2	閏九月二日	御慰能
能	船弁慶	寛文二	1662	6/13		北原采女宅能
能	船弁慶	延宝五	1677	8/6		三の丸舞台完成能興行
能	船弁慶	元禄十二	1699	9/2	閏九月二日	御慰能
能	船弁慶	寛保二	1742	11/2		再度招請終了祝儀振舞能

Hosei University Repository

種類	曲目	年号	西暦	月日	備考	能しの種類
能	不明	延宝三	1675	4/2	松田又八郎・同八郎三郎	お亀様初御出馳走
能	放生川	延享三	1746	9/22		将軍宣下祝儀老中招請能
能	仏原	元禄十二	1699	9/2	関九月二日	御慰能
能	松風	寛文二	1662	6/13		北原采女宅能
能	松風	延宝五	1677	1/9		謡初め
能	松風	延享三	1746	9/16		将軍宣下祝儀老中招請能
能	乱	元禄元	1688	7/25		御城能興行
能	乱	享保元	1716	11/9		将軍宣下祝儀老中招請能
能	乱	延享三	1746	9/22		将軍宣下祝儀老中招請能
能	三輪	延宝三	1675	9/25		井深茂右衛門宅光冨
能	三輪	寛保二	1742	10/23	御跡舞之能	吉宗転任・家重兼任祝儀老中招請能
能	三輪	宝暦十	1760	11/2	御跡舞之能	家治転任兼任祝儀老中招請能
能	六浦	享保元	1716	11/4		将軍宣下祝儀老中招請能
能	六浦	元文二	1737	8/16		竹千代様御誕生祝儀老中招請能
能	六浦	延享三	1746	9/11		将軍宣下祝儀老中招請能
能	和布刈	延宝五	1677	10/27		井深茂右衛門宅光冨
能	紅葉狩	延宝三	1675	9/29		友松勘十郎宅光冨
能	紅葉狩	元禄元	1688	7/25		御城能興行
能	紅葉狩	元禄八	1695	10/10		お元様誕生祝儀能
能	盛久	元禄六	1693	12/22		少将様厄年無事年忘能
能	八島	延宝五	1677	10/27		井深茂右衛門宅光冨
能	八島	元禄十	1697	5/9	少将(正容)	江戸城奥舞台能
能	八島	享保元	1716	11/7		将軍宣下祝儀老中招請能
能	八島	元文二	1737	8/16		竹千代様御誕生祝儀老中招請能
能	八島	寛保二	1742	11/2		両度招請終了祝儀披露能
能	八島	宝暦十	1760	11/22		将軍宣下祝儀老中招請能
能	弓八幡	元禄元	1688	8/21		入部祝儀能
能	弓八幡	元禄八	1695	11/30		お元様若揃井新道完成祝儀能
能	弓八幡	宝永七	1710	5/16		将軍宣下祝儀老中招請能
能	弓八幡	享保元	1716	11/9		将軍宣下祝儀老中招請能
能	弓八幡	元文二	1737	8/11		竹千代様御誕生祝儀老中招請能
能	熊野	延宝三	1675	9/29		友松勘十郎宅光冨
能	熊谷	宝永七	1710	5/19		将軍宣下祝儀老中招請能
能	構貴妃	延宝三	1675	9/25		井深茂右衛門宅光冨
能	夜討曽我	元禄十二	1699	9/2	関九月二日	御慰能
能	養老	延宝三	1675	9/29	祝言	友松勘十郎宅光冨
能	養老	元禄六	1693	12/22	祝言	少将様厄年無事、年忘能
能	頼政	元禄八	1695	11/30		お元様若揃井新道完成祝儀能
能	頼政	元禄十二	1699	9/2	関九月二日	御慰能
能	羅生門	元禄十二	1699	9/2	関九月二日	御慰能
能	善知鳥	延宝六	1678	11/10	保生将監・九郎	重四郎様御目見御製意之御方招能・夜

Hosei University Repository

種類	曲目	年号	西暦	月日	備考	催しの種類
能	葛城	延宝六	1678	11/10	保生将監・九郎	重四郎様御目見御懇意之御方招能・夜
能	国栖	延宝六	1678	11/10	保生将監・九郎	重四郎様御目見え御懇意之御方招能
能	軍僧	元禄八	1695	10/10		お元様誕生祝儀能
能	忠度	延宝六	1678	11/10	保生将監・九郎	重四郎様御目見え御懇意之御方招能
能	龍田	元禄八	1695	10/10		お元様誕生祝儀能
能	張良	延宝六	1678	11/10	保生将監・九郎	重四郎様御目見え御懇意之御方招能
能	芭蕉	延宝六	1678	11/10	保生将監・九郎	重四郎様御目見え御懇意之御方招能
能	乱	延宝六	1678	11/10	保生将監・九郎	重四郎様御目見え御懇意之御方招能
能	山姥	元禄八	1695	3/12	少将(正容)	将軍綱吉講釈拝聴・仕舞拝見
能	遊行柳	延宝六	1678	11/10	保生将監・九郎	重四郎様御目見え御懇意之御方招能
囃子	芦刈	正徳四	1714	5/9	於小書院	将軍宣下祝儀老中招請囃子
囃子	芦刈	享保十一	1726	5/6		理髪役祝儀老中招請囃子
囃子	芦刈	元文元	1736	4/7	栄光院様江御馳走	家督継承祝儀老中招請囃子
囃子	井筒	寛文九	1669	6/15		家督祝儀老中招請囃子
囃子	鵜飼	天和二	1682	7/9		堀田筑前守接待
囃子	鵜飼	寛政三	1791	10/29		家中隠居招待囃子
囃子	江口	享保十一	1726	5/6	御所望	理髪役祝儀老中招請囃子
囃子	老松	延宝八	1680	1/6		謡初め
囃子	老松	元禄八	1695	10/19		西郷頼母宅光貞囃子
囃子	老松	延享元	1744	4/22	少将様(容貞)御杯事	お常様婚礼
囃子	老松	宝暦七	1757	8/25	祝賀	家督継承祝儀老中招請囃子
囃子	春日龍神	天和二	1682	2/13		謡初め
囃子	賀茂	享保十一	1726	5/6	御所望	理髪役祝儀老中招請囃子
囃子	清経	天和二	1682	7/9		堀田筑前守接待
囃子	呉服	寛保二	1742	10/27	祝賀	家治元服祝儀老中招請囃子
囃子	源氏供養	天和二	1682	7/9		堀田筑前守接待
囃子	祝賀	正徳四	1714	5/9	曲名不明。於大書院	将軍宣下祝儀老中招請囃子
囃子	祝賀	正徳四	1714	5/9	曲名不明。於小書院	将軍宣下祝儀老中招請囃子
囃子	祝賀	享保十一	1726	5/6	曲名不明	理髪役祝儀老中招請囃子
囃子	祝賀	享保十一	1726	5/6	曲名不明	理髪役祝儀老中招請囃子
囃子	祝賀	元文元	1736	4/5	曲名不明	家督継承祝儀老中招請囃子
囃子	祝賀	元文元	1736	4/5	曲名不明。御跡寿之囃子	家督継承祝儀老中招請囃子
囃子	祝賀	元文元	1736	4/7	曲名不明。	家督継承祝儀老中招請囃子
囃子	祝賀	明和三	1766	5/7	曲名不明	理髪役祝儀老中招請囃子
囃子	祝賀	寛政三	1791	10/29	曲名不明	家中隠居招待囃子
囃子	猩々	寛文元	1661	11/28	観世・喜多	お石様婚礼
囃子	猩々	寛文九	1669	6/5	祝賀	家督祝儀老中招請囃子
囃子	猩々	寛文九	1669	6/15	祝賀	家督祝儀老中招請囃子
囃子	猩々	寛文一一	1671	9/13	祝賀	於御城囃子
囃子	猩々	天和二	1682	2/13	祝賀	お友様結納接待囃子
囃子	猩々	元禄八	1695	10/19	祝賀	西郷頼母宅光貞囃子

Hosei University Repository

種類	曲目	年号	西暦	月日	備考	催しの種類
囃子	猩々	元文二	1737	9/21	祝宮	お友様結納接待囃子
囃子	猩々	寛保二	1742	10/27	祝宮。御跡寿之囃子	お友様(容貞妻)輿入れ
囃子	猩々	延享元	1744	11/25	祝宮	お友様(容貞妻)輿入れ
囃子	猩々	延享元	1744	4/22	祝宮	お常様婚礼
囃子	猩々	宝暦七	1757	8/25	祝宮。御跡寿之囃子	家督継承祝儀老中招請囃子
囃子	高砂	寛文元	1661	11/28	観世・喜多	お石様婚礼
囃子	高砂	寛文九	1669	6/5		家督祝儀老中招請囃子
囃子	高砂	寛文一一	1671	9/13		於御城囃子
囃子	高砂	延宝八	1680	1/6	祝宮	謡初め
囃子	高砂	天和二	1682	2/13		謡初め
囃子	高砂	正徳四	1714	5/9	於大奥院	将軍宣下祝儀老中招請囃子
囃子	高砂	享保十一	1726	5/6		理髪役祝儀老中招請囃子
囃子	高砂	元文元	1736	4/7		家督継承祝儀老中招請囃子
囃子	高砂	元文二	1737	9/21		お友様結納接待囃子
囃子	高砂	延享元	1744	4/22		お常様婚礼
囃子	高砂	延享元	1744	11/25		お友様(容貞妻)輿入れ
囃子	高砂	宝暦七	1757	8/25		家督継承祝儀老中招請囃子
囃子	高砂	明和三	1766	5/7		理髪役祝儀老中招請囃子
囃子	龍田	寛文九	1669	6/15		家督祝儀老中招請囃子
囃子	龍田	寛文一一	1671	9/13		於御城囃子
囃子	龍田	延宝八	1680	1/6		謡初め
囃子	龍田	天和二	1682	7/9		堀田筑前守接待
囃子	龍田	正徳四	1714	5/9	於小奥院	将軍宣下祝儀老中招請囃子
囃子	龍田	元文元	1736	4/5	御跡寿之囃子	家督継承祝儀老中招請囃子
囃子	龍田	寛保二	1742	10/27	御跡寿之囃子	家治元服祝儀老中招請囃子
囃子	龍田	延享元	1744	4/22	少将様(容貞)御杯事	お常様婚礼
囃子	龍田	宝暦七	1757	8/25	御跡寿之囃子	家督継承祝儀老中招請囃子
囃子	龍田	寛政三	1791	10/29		家中隠居招待囃子
囃子	定家	延宝八	1680	1/6		謡初め
囃子	唐船	寛政三	1791	10/29		家中隠居招待囃子
囃子	東北	寛文元	1661	11/28	観世・喜多	お石様婚礼
囃子	東北	寛文九	1669	6/15		家督祝儀老中招請囃子
囃子	東北	寛文一一	1671	9/13		於御城囃子
囃子	東北	延宝八	1680	1/6		謡初め
囃子	東北	天和二	1682	2/13		謡初め
囃子	東北	正徳四	1714	5/9	於大奥院	将軍宣下祝儀老中招請囃子
囃子	東北	享保十一	1726	5/6		理髪役祝儀老中招請囃子
囃子	東北	元文元	1736	4/5		家督継承祝儀老中招請囃子
囃子	東北	元文二	1737	9/21		お友様結納接待囃子
囃子	東北	寛保二	1742	10/27		家治元服祝儀老中招請囃子
囃子	東北	延享元	1744	4/22		お常様婚礼

Hosei University Repository

種類	曲目	年号	西暦	月日	備考	催しの種類
囃子	東北	延享元	1744	11/25		お友様(容貞妻)輿入れ
囃子	東北	宝暦七	1757	8/25		家督継承祝儀老中招請囃子
囃子	融	元禄八	1695	10/19		西郷頼母宅光賞囃子
囃子	融	元文元	1736	4/7	栄光院様江御馳走	家督継承祝儀老中招請囃子
囃子	融	寛政三	1791	10/29		家中隠居招待囃子
囃子	野宮	寛文九	1669	6/5		家督祝儀老中招請囃子
囃子	野宮	寛文一一	1671	9/13		於御城囃子
囃子	羽衣	寛文九	1669	6/15		家督祝儀老中招請囃子
囃子	羽衣	享保十一	1726	5/6		理髪役祝儀老中招請囃子
囃子	羽衣	元文元	1736	4/7		家督継承祝儀老中招請囃子
囃子	羽衣	明和三	1766	5/7		理髪役祝儀老中招請囃子
囃子	芭蕉	寛文九	1669	6/5		家督祝儀老中招請囃子
囃子	氷室	寛文九	1669	6/5	祝宮	家督祝儀老中招請囃子
囃子	不明	延宝六	1678	1/5	日吉権大夫他	於御座之間
囃子	不明	安永九	1780	6/25	金春大夫・同平五郎・平右衛門?	養子内定祝儀
囃子	松風	寛文一一	1671	9/13		於御城囃子
囃子	松虫	天和二	1682	2/13		恩初め
囃子	三輪	寛文九	1669	6/5		家督祝儀老中招請囃子
囃子	三輪	元禄八	1695	10/19		西郷頼母宅光賞囃子
囃子	三輪	享保十一	1726	5/6	御所望	理髪役祝儀老中招請囃子
囃子	蛙久	寛文九	1669	6/5		家督祝儀老中招請囃子
囃子	山姥	寛文一一	1671	9/13		於御城囃子
囃子	山姥	天和二	1682	7/9		堀田筑前守接待
囃子	山姥	元禄八	1695	10/19		西郷頼母宅光賞囃子
囃子	山姥	元文元	1736	4/7	栄光院様江御馳走	家督継承祝儀老中招請囃子
囃子	弓八幡	寛文九	1669	6/15		家督祝儀老中招請囃子
囃子	弓八幡	元文元	1736	4/5		家督継承祝儀老中招請囃子
囃子	弓八幡	寛保二	1742	10/27		家治元服祝儀老中招請囃子
囃子	弓八幡	寛政三	1791	10/29		家中隠居招待囃子
囃子	熊野	寛文九	1669	6/5		家督祝儀老中招請囃子
囃子	熊野	寛政三	1791	10/29		家中隠居招待囃子
囃子	葵老	寛政三	1791	10/29		家中隠居招待囃子